

■ 指定管理者制度導入施設 最終評価シート ■

1 基本情報

公の施設名	相模原市立清新デイサービスセンター
指定管理者名	社会福祉法人智泉会
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
施設設置条例	相模原市立高齢者デイサービスセンター条例
施設の設置目的	在宅の介護を必要とする高齢者に対し、入浴、給食その他のサービスを提供することによって、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的及び精神的な負担を軽減し、もって高齢者の福祉の増進に關与するため。
施設概要	高齢者が自宅から通い、入浴、食事などの日常生活の世話や機能訓練を受けられる施設 所在地：相模原市中央区清新5-3-1 清新住宅1階 延床面積：425.21㎡（機械室除く） 主な施設：機能訓練室、浴室、食堂、相談室、会議室、地域交流スペース 構造：鉄筋コンクリート造 開所時間：午前8時30分から午後5時まで 休所日：日曜日、土曜日及び12月30日から1月3日まで 定員数：27名
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

2 管理実績

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数合計（人）	6,450	6,123	6,215	5,518	5,635
介護報酬等収入（円）	55,482,765	51,956,952	51,644,678	46,477,218	47,737,603
利用者負担金等収入（円）	10,476,202	10,072,348	10,501,763	10,180,441	10,764,730
収入総額（円）	65,959,629	62,053,166	62,355,444	68,443,389	63,746,375
支出総額（円）	60,668,934	57,744,030	79,138,905	62,836,988	66,335,269

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価点 (20点満点)	評価点 10
	A	A	B	C	C		

指標	
指標名（単位）	利用率(%)
指標式と指標の説明	年間利用者数÷(1年間の営業日数×利用者定員数) ※利用者定員数に対する年間の利用割合

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値（%）	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
実績値（%）	93.3	88.6	89.6	79.2	80.9
達成度（%）	98.2	93.3	99.0	87.5	89.4

※ 制度上、定員制限があるため、実績値100%が最大値になります。実績値100%でも目標値95で割ると達成度は105%になり、評価基準上「A」評価となってしまいます。この点を勘案し、平成29年度、平成30年度は「A」評価としています。令和元年度以降は実績値100%の場合に「S」評価とするため、1.05を乗じ、達成度が110%になるように調整しています。

4 事業の実施状況

評価(5評価)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価点 (20点満点)	評価点 15
			A	A	A		

企画提案事業

主な事業名	内容等	効果等
お花見	コロナ対策で、車窓から鹿沼公園・市役所通りの桜並木を見学	各年数日開催し、利用者計97名が参加(令和元年度43名、令和2年度36名、令和3年度17名)
夏祭り	縁日に見立て、金魚すくい・的当てゲーム・ヨーヨー釣り等を楽しむ	各年数日開催し、利用者計330名、家族2名が参加(令和元年度116名、令和2年度109名(家族2名含む)、令和3年度105名)
清新大運動会	昔懐かしい種目(缶釣り・綱引き・玉入れ等)を赤・白組に分かれ競う	各年数日開催し、利用者計330名が参加(令和元年度121名、令和2年度114名、令和3年度142名)
クリスマス会	利用者参加型ゲームと職員の出し物のほか、施設から全利用者へプレゼント	各年数日開催し、利用者計226名以上、家族2名が参加(令和元年度不明、令和2年度111名、令和3年度115名(家族2名含む))

5 利用者の満足度

評価(5評価)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価点 (20点満点)	評価点 13
	A	A	B	B	A		

利用者満足度調査

調査手法	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会に委託した無記名アンケートを期間中に利用実績のある利用者に配布回収。実績値(満足度)はアンケートによる事業所の総合評価点
目標値の基準	本市の高齢者等実態調査(令和元年度までは平成28年度に実施した調査、令和2年度からは令和2年度に実施した調査)における、デイサービスを含む居宅介護サービスへの満足度の設問に対する「満足」、「おおむね満足」の合計の割合

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値(%)	89.8	89.8	89.8	89.1	89.1
実績値(%)	91.8	92.2	86.0	87.5	89.1
達成度(%)	102.2	102.7	95.8	98.2	100.0

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
アンケートBOX	利用者・ご家族・訪問者からの意見を常時募集。玄関に設置。

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
運動する機材をもっと増やしてほしい。外でゲートボールやグランドゴルフをやりたい。新しいレクを増やして欲しい。	レクリエーション提供研修への参加や月間デイの雑誌から毎月1個新規ゲームを追加対応しました。外でのレクに関しては、朝の朝会で出来ない旨を丁寧に説明させて頂きました。トレーニング機器2台を導入しました。
お泊りが出来たら良い	ご利用者・ご家族へ、できない現状にあることの説明。必要と思われるご家族様にはショートステイの情報発信、ケアマネへの状況提供をし、介護負担軽減を支援させて頂きました。
食事についての改善	職員が毎日試食をして、本部管理栄養士や直接業者に進言し改善に向けた努力をしてきました。

6 施設の経営状況

評価(5評価)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価点 (20点満点)	評価点
	C	C	C	B	C		6

施設の収支概要

(千円)

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入 (a)	65,959	62,053	62,356	56,740	59,532
介護報酬等	55,483	51,957	51,645	46,477	47,738
利用者負担金等	10,476	10,072	10,502	10,180	10,765
その他	0	24	209	83	1,029
支出 (b)	60,046	57,540	58,788	61,062	62,217
人件費	38,789	37,551	36,485	38,000	38,456
事業費	9,513	8,610	8,842	8,388	8,814
事務費	11,744	11,379	13,461	14,674	14,947
本体事業収支 [(a)-(b)](c)	5,913	4,513	3,568	-4,322	-2,685
自主事業収入 (d)	0	0	0	0	0
自主事業支出 (e)	0	0	0	0	0
自主事業収支 [(d)-(e)](f)	0	0	0	0	0
事業活動収支 [(c)+(f)](g)	5,913	4,513	3,568	-4,322	-2,685
施設整備等収入 (h)	0	0	0	1,403	4,216
施設整備等支出 (i)	560	154	0	1,775	4,118
施設整備等収支 [(h)-(i)](j)	-560	-154	0	-372	98
その他収入 (k)	0	0	0	10,300	0
その他支出 (l)	64	50	20,350	0	0
その他収支 [(k)-(l)](m)	-64	-50	-20,350	10,300	0
全体収支 [(c)+(f)]	5,289	4,309	-16,782	5,606	-2,587
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度のその他支出増は拠点区分間繰入金によるもの。令和2年度のその他収入は繰入金に対する回収によるもの。 ・令和2年度の事業活動収支減はコロナ禍による利用者数減によるもの。施設整備等収入、支出はコロナ対策事業補助金によるもの。 ・令和3年度の施設整備等収入は寄付金、支出は送迎車両購入によるもの。 				

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
管理業務			適正に実施	適正に実施	適正に実施
危機管理			適正に実施	適正に実施	適正に実施
人員配置・地元活用			適正に実施	適正に実施	適正に実施
現金管理			適正に実施	適正に実施	適正に実施
会計・経理			適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報セキュリティ			適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報公開・個人情報保護			適正に実施	適正に実施	適正に実施
市への報告事項・事前承認等			適正に実施	適正に実施	適正に実施
加点の有無			適正に実施	適正に実施	適正に実施
主な加点内容			無	無	無

8 指定管理者の自己評価

・平成29年度当初の契約数が令和2年度に入り急激に減少して行きました。新型コロナウイルス感染症がまん延し、介護度の高い方は来所され、低い方の利用が減少して行きました。中重度者の割合(要介護者中)が当初33%から3年度には46%と推移し、半面、要支援の方の利用も減少して行きました。ケアマネ事業所への毎月の報告やデイサービス通信で利用者獲得に努力してきましたが、残念ながら利用率アップには繋がりませんでした。介護度の重い方ほど家族の介護負担が多く複数回の利用となり、入所・入院・死亡等があると一気に利用率が下がります。市立デイサービスセンターの責務を感じながら、中重度者を多く受入、きめ細やかに利用者に沿った介護の提供をしても、結果利用率が全てだと痛感した5年間でした。

・定期的な園児との交流や中学生の職業体験受入は、子供たちの屈託のない行動や笑顔が、利用者さんを元気付け笑顔にしキラキラ輝けるひと時でした。ハーモニカ演奏や地域ボランティアの受け入れは、聞いたり歌ったり、昔話をしたりと、脳の活性化や心身の活性化に繋がっていました。このような行事もコロナ禍では中止せざるを得ませんでした。介護等体験は、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種済み等体調に留意し可能な限り受け入れてきました。ボランティア活動室の貸し出しは、トイレ等共有部分があり、感染防止対策として後半は貸し出しを中止しています。

9 所管課意見

・新型コロナウイルス感染症の流行により、デイサービスセンターの運営、利用者確保は非常に困難な状況であったと考える。成果指標の目標値は低下してしまったものの、中重度の利用者を受け入れていただいたことは感謝したい。
・指定管理期間を通じて、施設設置の目的に沿いデイサービスセンターを管理運営したこと、高齢者の心身機能の維持向上等を図るための事業を実施したことは評価できる。
・次期指定管理期間においては、市立施設として利用率を意識しながらも、中重度の積極的な受け入れを図っていただきたい。

10 選考委員会意見

(指定管理者に対する意見)

・この指定管理期間においては、新型コロナウイルス感染症の流行があり、高齢者のデイサービスセンターを運営する上では、重症化リスクの高い利用者対応、感染防止対策、職員の調整など非常に苦労されたと考えられる。そのような中で、利用者の安全を確保し、試行錯誤しながら事業を継続していただいたことに感謝したい。
・ボランティア等だけではなく、中学生の職業体験を多く受け入れた点は大変評価できる。この取組は利用者だけでなく、中学生に福祉の仕事を知ってもらえる機会となるので、ぜひとも継続していただきたい。
・デイサービスセンターを利用されている方に対しては、地域共生社会が掲げる「支え手」、「受け手」という関係を超えて、利用されている方の強みを少しでも活かしていただけるような関係づくりを意識していただきたい。

(所管課に対する意見)

・次期指定管理期間においては、管理実績の項目に利用者の内訳等を記載していただきたい。また成果指標の達成度にも中重度の利用率を追加していただきたい。

総合評価 (自動判定)

B

(59/100)

